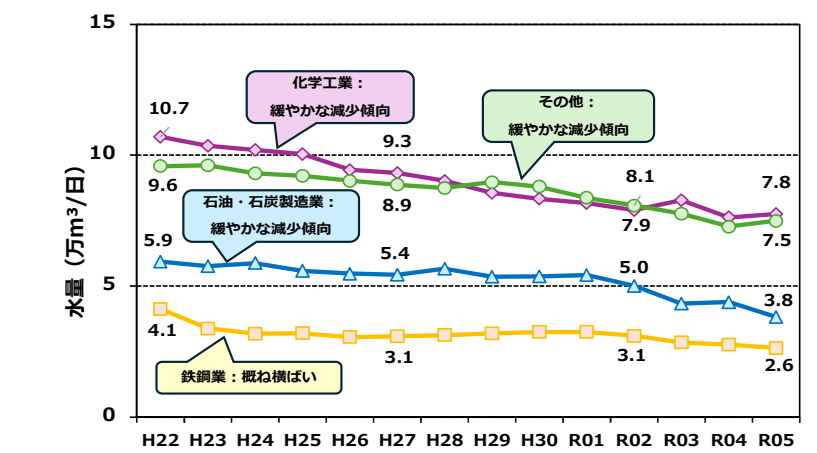


工業用水道事業では、受水事業所の申込水量である基本使用水量に加えて、本格的な施設更新を効果的・効率的に行っていくため、実使用水量に基づく水需要を予測する。

◇ 基本使用水量の推計 ◇ 実使用水量の推計

業種別の需要の動向 (1日平均配水量)



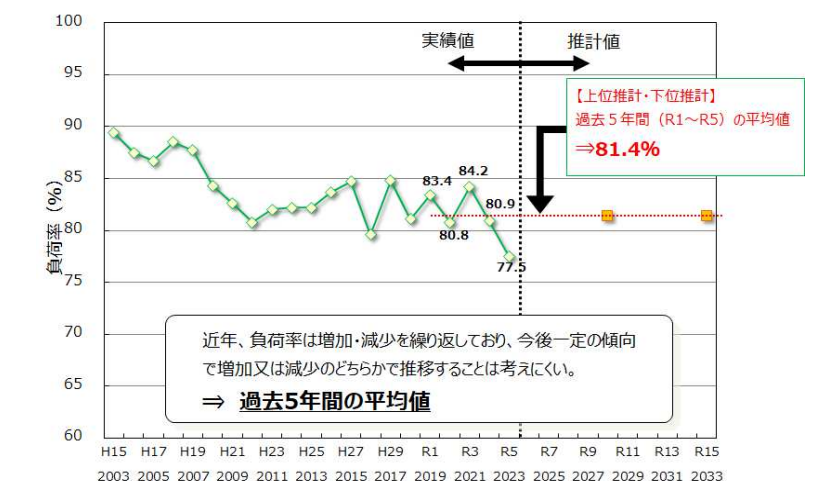
推計方法の設定について

- ◇ 基本使用水量の推計: 積上げによる推計
- ◇ 実使用水量の推計: 実績の動向を基に推計

- 水需要 (実使用水準) 全体では、減少傾向
- 業種別では、全体水量と異なる傾向もある (横ばい)
- 大口受水事業所の動向に大きく影響を受けることも考えられる。→ 業種別に実績の傾向を分析するとともに、大口受水事業所の動向を反映

- 業種別の実績の傾向を分析する推計①と、水需要に大きく影響する大口受水事業所の動向を反映する推計②を業種毎に行う。
 - 推計①: 1日平均配水量 (業種別) の過去10年間の時系列傾向分析を基にした推計
 - 推計②: 大口受水事業所の使用実態にアンケート結果を反映した推計
 - 推計①、②のうち、推計値が大きくなる推計を上位推計、小さくなる推計を下位推計とする。
- ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大による 時的な影響の有無について、産業別に確認した結果、「その他軽工業」は、同感染症の影響を受けられていると考えられるため、令和元年度までの実績値を基に推計し、令和5年度実績値で補正する。
- ※推計①において、石油・石炭製造業は、大口受水事業所1社が撤退したことで令和2年度から実使用水量が大きく減少している。同規模の撤退が予測期間中に発生すると想定し難いため、当該大口受水事業所の減少分を除いて時系列傾向分析を実施する。

負荷率の設定



◇ 基本使用水量の推計

① 基本使用水量 382,157m³/日 (令和5年度末)

② 新規・増量見込水量 486m³/日

③ 廃止・減量見込水量 30,150m³/日

④ 新規立地見込み水量 559m³/日

将来水需要量 (基本使用水量)
① + ② - ③ + ④ = 353,052m³/日

◇ 実使用水量の推計

■ 産業別に分解し、影響度の大きい業種を把握

化学工業 大口需要者 実績の傾向を確認	業種全体 実績の動向を基に推計	石油・石炭製造業 大口需要者 実績の傾向を確認	業種全体 実績の動向を基に推計
鉄鋼業 大口需要者 実績の傾向を確認	業種全体 実績の動向を基に推計	ガス業 大口需要者 実績の傾向を確認	業種全体 実績の動向を基に推計
その他重工業 大口需要者 実績の傾向を確認	業種全体 実績の動向を基に推計	その他軽工業 大口需要者 実績の傾向を確認	業種全体 実績の動向を基に推計
その他 上記6業種との比率で推計			

